刑法特講 II

科目ナンバリング　CRL-306
選択　　2単位

久保田　隆

1. 授業の概要（ねらい）

本講義では、重要な（裁）判例を題材に、1・2年次に学んだ刑法総論・刑法各論について、より深く学んでいきます。秋期の「刑法特講II」では、刑法各論の重要論点に関する（裁）判例を中心に扱います。

2. 授業の到達目標

①刑法各論に関する主要な論点について、（裁）判例の内容を踏まえながら説明できる。
②刑法各論に関する最新の論点について、私見とその論拠を述べることができる。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験ないしレポート（70%）および授業への貢献度（30%）によって評価します。授業への貢献度については、毎回の授業後にLMS上で提出する課題（リアクションペーパー）などをもとに判断します。

4. 教科書・参考文献

教科書
十河太朗＝豊田兼彦＝松尾誠紀＝森永真綱　刑法各論判例50！　有斐閣
参考文献
山口厚＝佐伯仁志〔編〕　刑法判例百選II〔第7版〕　有斐閣
成瀬幸典＝安田拓人＝島田聡一郎〔編〕　判例プラクティス刑法II　各論　信山社
井田良＝佐藤拓磨〔編著〕　よくわかる刑法〔第3版〕　ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

毎回授業の最後に翌週の授業の内容を予告しますので、上記教科書の該当箇所（特に、事案の概要）を読んで予習してきてください。刑法各論について簡単に復習したいという人には、上記参考文献の該当箇所を一読することをお勧めします。

6. その他履修上の注意事項

・「刑法各論I・II」をすでに履修済みであることを前提に授業を進めます。
・授業では、レジュメを配布します。
・六法を毎回必ず（！）持参してください（小型のもので構いません）。
・質問や相談は、毎回の授業後にLMS上で提出する課題（リアクションペーパー）にて受け付けます。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション　春期の復習｜刑法各論の全体像
【第2回】　生命・身体に対する罪①　生命の保護（胎児性致死傷｜殺人罪と自殺関与罪）
【第3回】　生命・身体に対する罪②　身体の保護（暴行によらない傷害｜同時傷害の特例）
【第4回】　自由・名誉に対する罪①　略取・誘拐罪｜住居侵入罪
【第5回】　自由・名誉に対する罪②　名誉毀損罪｜業務妨害罪
【第6回】　自由・名誉に対する罪③　強制わいせつ罪｜補論：性犯罪に関する近時の法改正とその後の動向
【第7回】　財産に対する罪①　窃盗罪
【第8回】　財産に対する罪②　強盗罪
【第9回】　財産に対する罪③　詐欺罪
【第10回】　財産に対する罪④　横領罪・背任罪
【第11回】　財産に対する罪⑤　盗品関与罪｜毀棄・隠匿罪
【第12回】　社会的法益に対する罪①　公共の安全に対する罪（放火の罪）
【第13回】　社会的法益に対する罪②　公共の信用に対する罪（文書偽造の罪）｜風俗に対する罪（わいせつ電磁的記録送信頒布罪）
【第14回】　国家的法益に対する罪　国家の作用に対する罪（公務執行妨害罪｜賄賂の罪）
【第15回】　秋期のまとめ（と期末試験）